

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エイチ・ビィ・アソシエーツ(株)	代表者	柳下 早苗	法人・事業所の特徴	他職種との連携を図れる体制の確保が行え、サービス提供に繋がっている。同居ができないご家庭においても、希望に応じた通いの中で、時折の泊まりを提供することで在宅生活を継続できている。
事業所名	りんどうケアヴィレッジ	管理者	池田 えり子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1		2			2		3		8

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	令和8年度にむけた改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、ミーティングやLINEワークスを活用し職員全員が同じ情報を共有できるように努めスムーズな支援に繋げる。事業所のあり方について職員と話す機会を設け、職員からの意見を聞きサービスの向上に繋げていく。 利用者ご家族アンケートの結果を事業所運営に反映させていくように努める。 小規模多機能の特性を活かした多様なサービスの取り組みに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートおよびLINEワークスを活用し、情報共有は概ね円滑に行っているが、使い分けが不十分な場面もあり、伝達の遅れが課題として見られた。一方で、送迎時のご家族からの聞き取りなど、日々の積極的な声かけにより関係性の構築が進み、ご利用者様の安定した利用につなげることができた。 アンケートの実施には至らなかった。 利用者のニーズに応じた対応は概ね実施できていたが、職員体制の都合により、状況によっては十分な対応が難しい場面もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内唯一の小規模多機能なので、今の取り組みを継続して、今後も「そのひとらしい」を生活を支えていただきたいです。 職員間の情報共有として、LINEワークスを導入することで新しい情報が共有することができている。 サービスの向上にも役に立っている。 令和6年度の改善に対して、職員が理解して、出来ている点出来ていない点を自己評価をし、更に改善できるよう計画を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートとLINEワークスの役割を明確化し、使い分けの徹底を図ることで、より迅速かつ確実な情報共有体制を構築する。また、引き続きご家族との連携や日々の声かけを大切にし、安定した利用に繋げていく。 ご家族アンケートを計画的に実施する。結果を分析し、課題や要望を事業所運営に反映させる。 小規模多機能の特性をさらに活かし、利用者一人ひとりのニーズに応じた柔軟なサービス提供が安定して行えるよう、職員間の情報共有の強化と業務の効率化を図る。

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、看板やポスターを作成し、家族や地域の方になかまーるカフェを周知し、地域の方の参加を目指す。 ・なかまーるにご利用者の作品などを展示し、親しみやすい環境づくりを行い、ご利用者が過ごしやすく、地域の方が立ち寄り易い環境作りに努める。 ・感染対策の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェやタウン祭りを通じて、幅広い世代の地域住民に参加していただくことができた。 ・季節の作品やご利用者の手作り作品を展示することで、事業所内の雰囲気により温かくなり、親しみやすく安心できる環境づくりにつなげることができた。 ・職員およびご利用者の中で新型コロナウイルスやインフルエンザの発症はあったが、適切な感染対策の実施により、感染拡大を防ぐことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかまーるはいつも作品が飾られ、入りやすい雰囲気です。フロア内も清潔で温かい印象です。 ・地域にひらけた施設作りができている。カフェの看板もわかりやすく、近所の方も参加しやすいように工夫している。 ・なかまーるにはいつも利用者さんの作品が展示され、親しみやすい。カフェポスターが入口に展示され周知されやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、掲示物やチラシの配布、関係機関への周知等を通じて、なかまーるカフェの広報を行う。地域住民の参加促進を図り、地域に開かれた居場所づくりにつなげていく。 ・季節の作品やご利用者様の作品を展示し、事業所内の雰囲気づくりを工夫することで、利用者や来訪者にとって親しみやすく温かみのある環境づくりを目指していく。 ・感染対策の継続。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「なかまーるカフェ」の定期的な開催やケアタウン祭りの開催で、りんどうケアタウン大磯が地域交流の情報の発信場所として、地域の方々に親しまれる事業所を目指す。 ・地域の行事へ利用者と参加して地域との交流の機会を増やすと共に、地域の方々と協働した行事の開催に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と協働しながら行事を実施することができた。また、「なかまーるカフェ」を継続開催することで、地域に開かれた交流の場づくりを推進することができた。タウン祭りなどを通じて、幅広い世代の地域住民に参加していただき、地域との繋がりを深めることができた。 ・中丸文化祭や防災フェアなど地域行事にも協働することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、毎回、町内・地区の情報を確認し共有されています。 ・地域行事への参加・交流もされ、自宅では自ら参加が難しい利用者の方も行事を楽しまれています。 ・地域の中に溶け込むようにイベントを行っている。 ・相談となった時に相談する入口（窓口になる場）がわかりにくい。 ・中丸文化祭や中丸防災フェアに参加するなど、交流を深める努力がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に認知症カフェや介護に関する勉強会を開催し、りんどうケアタウン大磯から積極的に情報発信を行うことで、地域に広く認識される親しみやすい事業所を目指していく。 ・引き続き、地域行事への参加および地域住民との協働を通じて、交流機会の拡充と地域との繋がりをの強化を図る。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブや地域のお祭りや行事へ利用者と参加させていただく等で、地域と交流する機会を作る。 ・近隣の方や民生委員など、地域の方々と連携して得た情報を支援に活かす。 ・「私のアルバム」の取り組みは引き続き行い、地域との関わりなど利用者の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントにご利用者とともに参加することで、外部の方々との交流の機会を増やすことができた。 ・地域行事への参加を支援し、地域との関係が継続できるよう取り組んだ。全員ではないが、民生委員との連携も図ることができている。 ・「私のアルバム」を十分に活用することができていなかった。利用中の困りごとには目を向けることができていたが、直接接していない時間帯の生活の様子や困りごとを把握できておらず、サービスの組み立てにつなげることができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での生活を支える視点で、その方に合わせた支援をめざして、情報収集され、地域との繋がりが、かわりを時に仲介するなどして対応されています。 ・「私のアルバム」を作成できていても、上手に活用できていない部分があるのが残念。 ・地域の行事などに参加できているのは良いと思う。 ・公園でも散策、国府祭見学、もちつき大会参加など地域や季節にあった、楽しみの機会をもけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中丸文化祭や防災フェアなどの地域の行事にご利用者とともに参加し、地域住民との交流機会を増やすことで、社会参加の促進と地域との繋がりを作る。 ・カンファレンスや日々の利用者様との関わりの中で得た情報を職員間で共有し、より適切で統一したサービス提供に繋がっていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題(介護や福祉、防災等)について意見の交換を行い、事業所と地域の方々と協働してできる事を検討し取り組んでいく。 ・地域の方々の情報交換や情報提供の場としての、地域交流スペース「なかまーる」の活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は定期開催することで、地域の様子や他事業所のイベントなど情報交換することができていた。 ・なかまーるカフェは定期的開催することができたが、新たな活用方法見つからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題について、情報交換する場になっていると思います。 ・参加いただける方がいれば、利用者のお家族のお話も聞いてみたいです。 ・会議の中で、民生委員や包括など様々な方からの意見を聞く事ができ、その中で良い点などとり入れることができています。 ・推進会議には事業所・地域・行政・包括が集まっているので、抱えている問題について相談できる場になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の継続開催に加え、地域住民や関係機関の意見を取り入れながら、新たな活用方法を検討する。 ・なかまーるカフェの開催し情報交換や情報提供の機能をより充実させ、気軽に立ち寄れる地域交流の拠点となることを目指す。

<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練を定期的に実施し、職員一人一人が災害時に適切な対応ができるよう災害の実践に即した訓練を行っていく。 ・ 事業所の防災訓練に地域の方や他事業所に参加していただき、災害時の地域との連携に努める。またりんどうの避難経路や防災設備、災害時の対応について周知してもらう機会を設ける。 ・ 地域の防災訓練に参加し、地域との連携を図ると共に、災害時における役割を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 害種別ごとの対応を検討し、定期的に避難訓練を実施した。また、ケアタウン大磯の利用者・入居者合同で避難訓練を行い、連携体制の強化と防災意識の向上につなげることができた。 ・ 今年度は地域の方や他事業所の参加を得た避難訓練の実施には至らなかった。 ・ 地域の防災関連イベントには参加することができ、地域との連携強化および防災意識の向上につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者さんの状態に合わせて、工夫されながら避難訓練に取り組まれていると思います。 ・ 訓練の様子なども伝えていただき、どのような取り組みができているかがよくわかった。 ・ 実際の訓練から見えてきた課題からさらに現実的な避難方法を考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関や地域住民との連携を強化し、より実践的で開かれた防災訓練の実施を目指していく。 ・ 災害時に備え、必要物資の備蓄状況の確認と見直しを行うとともに、関係機関や家族との連絡体制を整理・明確化し、迅速に対応できる体制整備を図る。
-----------------------	---	---	---	--